

平成 29 年度第 1 回北竜町ひまわり油再生協議会会議録

と き 平成 29 年 5 月 30 日 (水)
午前 9 時 35 分～午前 11 時 15 分
ところ 北竜町役場 (2 階) 会議室

出席者 19 名

挨拶 佐野会長 (町長)

【協議事項】

1. 平成 29 年度ひまわり油再生プロジェクト事業進捗状況について
別紙資料 1 により説明

Q. ひまわり油販促について、健康食品としてオレイン酸・ビタミン E といったひまわりの効能を全面的に打ち出すべきでは？

A. 商品単体で説明・効能を訴求するより

油の特性を活かしたメニュー (使い方) 提案や菓子作りの方が、消費者は解り易い

Q. 「ひまわりによるまちづくり審議会の設置」の提案

行政だけの推進では限界がある

審議会の答申の事業施行には、民間資金 (ひまわりバンク) の活用

1 年目は油の販売

2 年目は民間による事業の継承

現在している創業起業事業化セミナーでは、北竜町の人材資源と地域資源の発掘

ひまわりの農業・観光・6 次産業化の事業化を目指しているが、意欲ある人の声が表に出ていない。そこで、町の重要案件を検討する審議会の設立が必要では？

Q. ひまわり栽培は、昨年から今年と良い方向にきている。

シーダーテープについて、草取りの労力の低減→加工コストが高く、また作業に人員を割く結果になり、春先の人手が不足した。

真空播種機の購入の検討を考えている。費用は 450 万程 シーダーテープ 3 年分の費用で賄える見込み (170 万円/9ha×3 年分 面積拡大対応)

A. 真空播種機はメンテナンス費用が高い、ひまわりの里は総合播種機で行っている

Q. 遠くからも見えてしまう景観の短所を長所に変える。近くに来て見て入場料を払う仕組みづくりが重要では？

A. ひまわりの価値を対価に変える必要がある

ひまわり資源の有効活用が必要

ひまわりを維持するために小さな町の生き残りが必要

A. 遠くから見えても、近くに来ないと見えない、判らないひまわりの特別な感動

遠くから見えても、高い所から見ないと判らないひまわりの特別な感動

自然景観ではなく、柵が有り区切られている事で価値を高める

現在のように無料であれば、その場で、来場者の消費を促進できる方法を考える

- Q. このプロジェクト全体の究極の目的 一人でも多くの人が北竜町に来る
北竜町に経済効果を発生させる
そして町の人が笑顔になる

北竜町の一大イベント・ひまわりまつりで如何に、来場者の消費を促進出来るのか
北竜町は今、ひまわり油とひまわりライスで注目を集めている

日本農業大賞 プロの中で一番の米になった事を、どう農業大賞を知らない消費者
にアピールするのか、2017年度しか出来ない商機。

- A. JAの機械センターの壁の pop シールを日本農業大賞にデザイン変更する
ひまわりまつりで販売する
贈答用のパッケージデザイン変更を検討する

- Q. 観光農園は、商品であるから、他の畑との競争意識を持つ
やれる処から、出来る処から、イベントや消費を生み出していく。
今年は確実に注目があがっている、このチャンスは今年しかない

- A. ひまわりライスは、東京でもメディアを通して認知度は高い
取引先の新規開拓にはうってつけのブランド
ひまわりまつりでもどうやって販売していくのか勉強する

- A. ひまわりまつりで販売し、ふるさと納税で新米の注文を受け付けるという流れに
結び付ける。

2. その他

- | | | |
|----------|----|----------------------------------|
| (1) 次回開催 | 日時 | 平成 29 年 7 月 21 日 (金) 午前 9 時 30 分 |
| | 場所 | 北竜町役場 (2 階) 会議室 |
| | 議案 | 事業の進捗状況
課題問題点検討状況 |

北竜町ひまわり油再生協議会 出席者名簿

H29.5.30

	役 職 名	氏 名	備 考
1	北竜町 町長	佐野 豊	会長
2	北竜町議会 まちづくり等調査特別委員会 委員長	佐光 勉	
3	きたそらち農業協同組合 北竜地区代表理事	北清裕邦	副会長
4	北竜町商工会 会長	藤井雅仁	
5	(株)マーケティングフォースジャパン 代表取締役社長	横山秀樹	副会長 アドバイザー
6	総務省 地域力創造アドバイザー	曾根原久司	コーディネーター
7	北竜町ひまわり観光協会 会長	小松忠彦	
8	ひまわり油生産協議会 会長	藤井二郎	
9	きたそらち農業協同組合 北竜支所長	星野忠雄	
10	北竜町商工会 事務局長	中島則明	代理佐藤宏一
	(株)マーケティングフォースジャパン 監査役	牧村一郎	
	北竜町 副町長	竹内範行	
	(株)マーケティングフォースジャパン 札幌営業所	山中貴裕	
	きたそらち農業協同組合 北竜支所長 営農課長	篠永雄一	
	北竜町役場 企画振興課長	高橋利昌	事務局
	北竜町役場 産業課長	有馬一志	代理東海林孝行
	北竜町役場 企画振興課長補佐	濱田敬一	北海道派遣職員 事務局
	北竜町役場 企画振興課 ひまわり油再生専門官	東郷弘之	日清オイリオグループ(株)派遣職員
	北竜町役場 企画振興課 企画係長	市場義弘	事務局

(敬称略)

平成29年度 地方創生推進交付金
「地域資源を企業と連携活用した、新たな産業振興プロジェクト」事業進捗状況

項目	計画	進捗状況	課題・問題・意見・要望
1. 事業目的	北竜町が抱える諸問題について、北竜町の「ひまわり」をはじめとする地域資源を、日清オイリオグループ(株)等の企業の知見と技術支援により活用し、産業と観光の振興を通して、課題解決を図る。		
2. 事業概要	平成28年度における「ひまわり油再生プロジェクト」の検証評価を受け、生産性・品質の向上、販路の拡大、新たなひまわり油商品開発などのサプライチェーンの再構築を行うと共に、新たな企業・研究機関との連携、油糧作物生産地との連携、将来のプロジェクト民営化に向けた提言を図る		
3. 事業計画			
(1)ひまわり油事業			
①作付栽培			
・品種	油糧ひまわり「コバルトⅡ」(ハイオレイック種)(種子消毒済)	4月6日 油糧ひまわり「コバルトⅡ」(ハイオレイック種) 58kg購入	前年無除草、北竜町の安全安心なイメージの固定
・作付面積	8.98ha(圃場面積)(4/下旬-5/10日播種予定)	4月13日 ひまわり生産協議会において、除草剤を使わない栽培を確認	無除草剤栽培体系について検討
・作付農家	5農家・法人	農事組合法人ほのか、道下浩、高田幸喜、深瀬友博、農事組合法人豊竜農場	
・栽培方法	シーダーテープ(1粒播) 間引き労務の縮小 除草対策 除草剤:トレファノサイド乳剤 カルチ機械除草 手取り除草 カルチ陪土(土寄せ)	別紙 5月4日~5月11日 播種 播種方法 シーダーテープ 5月22日 発芽期(発芽率90%) 5月24日 カルチ機械除草(高田圃場)	シーダーテープ加工費と人件費・真空播種機購入の比較検討 作付面積の実測
		試験圃場 目的 コバルトが喜ぶ環境を調査研究する ・収量アップ ・作付面積拡大 栽培マニュアル作成 場所 三上圃場(一部:ほのか、深瀬) 株間試験 15cmから40cm 肥料試験 +カリ +苦土 ひまわり豚糞 土壌試験 一般畑と水田畑 収穫試験 9月上旬から10月中旬刈取り時期をずらす	
②収 穫			
・時期	9月下旬(播種後栽培日数145日間)		9/25-10/2(予定)
・反収目標	120kg/反		
・コンバインヘッダ	(ツース)の改良		
・品質保持	水分、酸価度チェック	収穫時 収穫作業 輸送作業 乾燥作業	
③乾 燥			
・貯留式循環乾燥機	(見込) 10,776kg		
・粗原料			
④原油搾油			
・原油搾油委託先	名寄ひまわり工房「北の稲ぎ」		
・粗原料受入基準	・水分7%以下 ・酸価1.9以下		
・原油量見込み	(見込) 3,000kg(原油歩留28%)		
	内訳 燦燦ひまわり油 2,720kg(見込) 生オイル 270kg(見込) 美容向けオイル 10kg(見込)		
⑤搬 送			
	・(見込) 2,720kg(F 55缶15本) ・受入先 日清オイリオグループ(株)堺事業場 ・受入基準 ・原産地証明 ・製品分析値 ・受入(予定)日 平成30年1月中旬		6月9日 堺事業場原油受入れ基準協議 ・品質 産地証明、水分、オレイン酸、成分分析) ・品質精油歩留 79.80% → 80%以上 ・原油受入数量 ・原油受入れ日程と商品出荷日程

項目	計画	進捗状況	課題・問題・意見・要望
⑥原油搾粕 ・搾油粕有効利用	・名寄(有)北名ファーム養豚飼料(ひまわり豚肉) ・空知農業改良普及センター北空知支所果菜野菜への利用	4月17日 温泉レストランメニュー化 (カツ丼、生姜焼き、とんかつ、カツカレー) 5月11日 養豚飼料としての活用確認	豚糞と搾り粕を混合した堆肥の検討 果菜・育苗へ活用
⑦商品化 ○燦燦ひまわり油 ○一番搾り生オイル(仮称) ○美容向けオイル試験	・(見込) 2,177kg (精油歩留80%) ・(見込) 7,900本 (275g 1,500円(税別)) ・(見込) 2,500本 (100g 900円(税別) 歩留90%) ・製造販売元 (株)北竜振興公社 ・(見込) 10kg ・試験製造 交洋ファインケミカル(株)(京都)	日清オイリオグループ 変質・保存の研究 セラミック脱臭 臭いの低減、酸価度は微減	5/31-6/2 化粧品産業技術展へ美容向けオイル出品パシフィック横浜 (交洋ファインケミカル(株)ブース) 6月1日 展示会、日清本社訪問 6月2日 日清磯子工場見学、日清研究所訪問
⑧販売促進 ○一番搾り生オイル(仮称) ○北海道健康とオイルの集い	デザイン・パッケージ (女性部等) ・期日 平成30年2月中旬 ・会場 札幌市内 ・参集 油糧作物生産者、油加工業者、油販売商社、消費者 行政、酪農学園大学、日本食品油協会 ・目的 食用油の機能性に着目して、油糧関係者の連携と 情報発信により油糧作物の増産と消費拡大を図る	4月8日 健康とオリーブオイルの楽しみ方 公民館 鈴木俊久(日清オイリオグループ商品戦略部主席) ひまわり油とオリーブオイルのテイasting	7月29日 ひまわりオイルサミット 主催:兵庫県佐用町 参加者 兵庫県洲本市 香川県まんのう町 島根県出雲市(斐川町生産協議会) 北海道名寄市? 北海道北竜町 会場 大阪駅前 うめきた広場・SHIPホール 展示・販売・試食 7/28-7/30 参加地域との情報公開 北海道健康とオイルの集い開催PR、参加呼び掛け
⑨販売 ○燦燦ひまわり油 ○一番搾り生オイル(仮称)	北竜振興公社 ・北竜温泉売店 1,000本(見込) ・インターネット 600本(見込) ・ふるさと納税 400本(見込) ・ひまわりまつり 1,000本(見込) 北竜振興公社 ・北竜温泉売店 1,250本(見込) ・ひまわりまつり 1,250本(見込)	平成28年度産 ・北竜温泉売店 970本 ・コープさっぽろドック 480本 ・ふるさと納税 95本	平成28年度産 7/15-8/20で販売 北竜町ひまわり観光センター 7月15日～8月20日 試験販売 北竜町ひまわり観光センター 生オイル+北の糠きセット販売 オリジナル写真貼付体験販売 ひまわりライスすくい取り体験
⑩新たな商品開発	・高品質なひまわり油生産の技術開発、調査研究、商品化 ・ひまわり油の高付加価値化への市場調査 ・ひまわり油を使ったメニュー・お土産商品開発 北竜町創業・起業・事業化支援セミナー 4月11日 農村資源を活かした起業・事業化とは 6月26日 北竜町の資源を掘り起こす 7月20日 都会の個人や企業のニーズを捉える 8月20日 ビジネスモデルの習得 9月19日 ビジネスプランの立て方	5月24日 酪農学園大学へ研究依頼 脱殻種子製造法 脱殻種子搾油法 酸価度低減技術開発 4月11日 申込者:16名 受講者:10名 講師:菅根原久司	搾油歩留りの向上、不純物の除去、搾油期間の短縮、搾油コストの低減、 搾り粕の食品利用、低温圧搾法の採用 フレーバーオイルの開発仕様・スケジュール検討 行者にんにくの粉末試験 中川町(有)匠舎 山わさびの粉末試験 黒千石事業協同組合 ブレンドオイルの開発仕様・スケジュール検討 黒千石大豆油の試験 黒千石事業協同組合 規格外

項目	計画	進捗状況	課題・問題・意見・要望												
	10月24日 ビジネスプランの実践 11月26日 ビジネスプランの実践 12月21日 ビジネスプランの実践 1月24日 ビジネスプランの実践 2月18日 ビジネスプランのプレゼンの習得 3月14日 ビジネスプランのプレゼンの実施 財源 はまなす財団交付金申請中														
(2)企業研修としてのひまわり農業体験 ①期 日 ・播種ツアー ・草取ツアー ・草取ツアー ・収穫ツアー ・搾油ツアー ②場 所 ③参加者	5/19(金)-20(土) 6/16(金)-17(土) 圃場確認・前回作業の評価検証 草取り作業の確認 ひまわり油販売促進ワークショップ そば打ち体験 6/30(金)-7/1(土) (酪農学園大学生のみ) 7/7(金)-8(土) 9/29(金)-30(日) 10/13(金)-14(土) ひまわりの里(世界のひまわりコーナー) 延75名予定(4企業、1大学)	5月19日 栽培計画の策定 4班体制 圃場測量 北竜米販売促進ワークショップ 5月20日 播種作業 ひまわりライス食べ比べ 燦燦ひまわり油圃場見学 6月30日 ひまわりライス・燦燦ひまわり油販売企画書作成 7月7日 販売企画書のブラッシュアップ 7/下~8/中 販売実演 ひまわり観光センター <table border="1" data-bbox="1211 363 1487 507"> <thead> <tr> <th>参加企業</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株)MFJ</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>(株)アジェンダ</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>(株)つぼ八</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>酪農学園</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table>	参加企業	参加人員	(株)MFJ	4名	(株)アジェンダ	2名	(株)つぼ八	1名	酪農学園	8名		15名	酪農学園生の宿泊の確保 温泉貸し部屋、空き家
参加企業	参加人員														
(株)MFJ	4名														
(株)アジェンダ	2名														
(株)つぼ八	1名														
酪農学園	8名														
	15名														
(3)ひまわりまつりにおける収益事業調査 ①調査方法 ②調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・入り込み実態調査 平日2日 土日2日間 ・アンケートの収集分析 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントのブラッシュアップ ・交流人口拡大策提案 ・収益事業調査、提言 ・協力金の充実提言 ・入場料、駐車料に関する調査、提言 	5月9日 広島県世羅高原農場視察 花観光における収益事業 季節営業 4/下~GW過ぎ チューリップ・枝垂れ桜 7/下~お盆過ぎ ひまわり 50種類 9/中~SW過ぎ ダリア 第2営業所 花夢の里 芝桜とネモフィラ 第3営業所 花の森 イングリッシュローズ 整備中	【提言】 (世羅高原農場代表理事吉宗誠也氏) 観光客は北海道のロケーション(自然景観)にお金を払う感覚が無い 観光客はガーデニングには有料の認識がある ひまわりの里をブロックに分けて春から秋の季節観光 特別な撮影地を設け有料化する 駐車場から遠い畑は有料で車の乗り入れを可能とする 地域間連携 北竜町に無いものがある地域 北竜町が出来ないものがある地域 補足説明 入場有料 マネジメント ターゲット 商圏・年齢層 アイデア・技術 観光客が納得 入場無料 ターゲット 老若男女 物販充実 利益の還元 ひまわりライス 日本農業大賞 燦燦ひまわり油 新発売 ひまわり収益事業の専門担当者の配置 ブロック花観光の研究 ひまわり デザイン化 秋に満開 ライトアップ ダリア 秋												